

エアコンへの19年度中に設置実現!

市民の声・組合の要求が国を動かし、市の設置前倒しに

瀬戸市は、市内小中学校の普通教室へのエアコン設置を19年度内に前倒しすることを瀬戸市議会で決めました。教育現場にとっては、久々の朗報です。

子どもたちの命と健康、快適な学びの場の提供という点で一步前進しました。あたかも市長が英断を下したかのような風潮が一部にあります。市民の声があったからこそ実現です。

瀬戸市はこれまで、小中一貫校開校に合わせ、20年度中に設置完了する方針を表明してきました。瀬戸市議会や瀬戸労との交渉においても国の積極的な動向があったにも関わらず冷たくあしらわれてきました。

この間市民・国民の強い要望や国会での取り組みを受け、国の補正予算措置がとられるようになりました。設置事業費は、11億円で来年1月以降工事を発注し、早ければ春休み中での着工を目前と見えています。



公立小中学校の全普通教室

エアコン 来夏までに

県教委は十三日の県議会文教委員会、県内の公立小中学校のほぼ全ての普通教室で、来年夏までにエアコンが設置される見通しを明らかにした。

豊田市で七月、校外学習後に小一男児が熱中症で死亡した事故などを受け、国は、小中学校や特別支援学校のエアコン設置費用を補助する臨時交付金を創設。県教委財務施設課によると、今月四日、県内で未

設置の四十七市町村八百六十校分として約七十九億円を交付する国から内示を受けた。

これにより、統廃合に伴い閉校したり、学校全体での大規模改修計画があったりする数校を除く全校で、エアコンが完備される見込み。県内の普通教室のエアコン設置率は九月一日時点で42・1%だった。県立特別支援学校の普通教室も来年夏までに完備す

今後、設置工事の集中が見込まれるため、県教委は、関連する施工業者の業界団体などに円滑な受注に向けた協力を要請している。(安藤孝志)

中日新聞 (2018.12.13より) ↑



特別教室・体育館のエアコン設置を!

瀬戸市は、音楽室などの特別教室や行事や避難場所に使われる体育館への設置を強く要望しています。引き続き、切実な要求を国・県・市に届けましょう。

みんなの働き方改革を!

みんなの声

英語教育やれ!
道徳教育やれ!
プログラミングやれ!
仕事押しつけの国よ
それに見合う
人員配置を!

教育現場のブラックな働き方はブラックの再生産につながる。教員の幸せな働き方が社会全体を変えていく。

教職員の健康や心に余裕があつて、子どもたちとの信頼関係ができる。
教員がティーチングマシーンになっていないか...

疲労や睡眠は一日一日の中でリフレッシュしていくのが大変重要。壊れてしまつてからでは遅い!



父母集会のまじめ

父母と教師の集いが開催されました

12月9日(日) 13時半〜尾張旭中央公民館で集いがありました。

講演は、「ほめると伸びる? ほめる、しかるを超えた勇気づけ子育て part II」で、昨年も来ていただいた尾関雄飛さん(ことばこ塾塾長)でした。

参加者は、教師、保育士、お母さんなど22名でした。

先生のお話では、全ての行動・感情・身体的反応は、目的がある。

- 問題行動の目的は、①賞賛の欲求 ②注目喚起 ③権力争い ④復讐 ⑤無能の証明など。

では、どうしたらいいのか。

- ①まず、問題行動とは何かを理解する
- ②課題の分離・・・他者の課題に無断で介入しない
- ③本当に自力でできないことに関して、助けを求められた時のみ援助が可能になる。



2018.12.9 尾張旭市中央公民館にて

援助は合意形成によって生まれる。
褒める・叱るは、援助ではなくコントロール。
叱る=怒りを使って相手を脅し屈服させる暴力。

③尊敬を与える
生まれてきてくれてありがとう。あなたに会えて良かった。交流の中で分かった事は、無視へ叱る・ほめるへ勇気付け。

書いて覚えるではなく、頭の中に書き、消してまた思い出す練習をする。
色々な方の悩みに答えてもらい、またアドラー心理学に少し近づけた気がしました。

平和都市宣言の議決

瀬戸市議会は12月17日、12月定例会議で「平和都市」宣言を可決しました。

議案の概要として、「核兵器の廃絶と戦争のない社会の実現を目指し、豊かな自然と文化を次世代に引き継いでいくために、「平和都市」を宣言する。」というものです。

戸田議員(自民新政クラブ)・長江議員(公明党)・原田議員(共産党)の賛成討論の後、採決の結果、異議なしで可決となりました。

今後、平和教育の充実のために更に働きかけをしていかなければなりません。



